



## 令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年2月10日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6894 URL <https://www.pulstec.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 幸博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)工藤 孝史 (TEL)053-522-5176  
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	1,308	△7.1	0	△99.6	0	△100.0	△10	—
2年3月期第3四半期	1,408	△15.8	175	△43.3	187	△44.1	120	△47.6

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 △11百万円(—%) 2年3月期第3四半期 120百万円(△47.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	△8.04	—
2年3月期第3四半期	87.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第3四半期	4,080	2,823	69.2
2年3月期	3,795	2,909	76.7

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 2,823百万円 2年3月期 2,909百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
3年3月期	—	0.00	—		
3年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,000	△13.7	200	△43.1	215	△40.9	183	△16.5
								134.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

3年3月期3Q	1,393,459株	2年3月期	1,393,459株
3年3月期3Q	24,876株	2年3月期	24,876株
3年3月期3Q	1,368,583株	2年3月期3Q	1,368,583株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が首都圏を中心に感染者の増加が続いており、個人消費の低迷や雇用環境の悪化に歯止めがかからず、一層厳しい状況下で推移いたしました。海外におきましても、一部の国や地域でワクチン接種が始まったものの、多くの国や地域で新型コロナウイルス感染症の拡大が深刻化しており、米中貿易問題や地政学的リスクの高まりなど、予断を許さない状況で推移いたしました。

当業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動縮小の影響により、輸送機器関連業界を中心に厳しい受注環境となりましたが、ヘルスケア関連につきましては、新規開発や量産移行案件の増加により好調に推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、国内外の展示会や学会等が徐々に再開され、海外渡航規制も一部で緩和されたものの、展示会の来場者の減少やビジネストラックでの海外渡航など、従来環境とは程遠い受注環境であるため、顧客とのWEB会議の開催、ホームページの拡充、インターネットを活用した動画配信など、新たな営業スタイルの構築に積極的に取り組むことにより、受注確保に注力いたしました。

以上の結果、売上高は13億8百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は0百万円（前年同期比99.6%減）、経常利益は0百万円（前年同期比100.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10百万円（前年同期は1億20百万円の利益）となりました。

なお、当社グループは、前連結会計年度までは、電子応用機器・装置事業の単一セグメントでしたが、第1四半期連結会計期間より、「X線残留応力測定装置関連」、「ヘルスケア装置関連」、「光応用・特殊機器装置関連」の3つのセグメントに変更しております。

X線残留応力測定装置関連につきましては、中止や延期となっていた国内外の展示会、学会、内覧会等が一部で再開されたものの、展示会や学会等は、開催内容や来場者の縮小傾向が続き、SNSによる情報発信やWEB会議などを積極的に取り入れ受注確保に注力いたしましたが、設備投資予算の凍結や導入時期の先送りなどの影響により低調な結果となり、売上高は3億81百万円（前年同期比14.0%減）、セグメント利益は67百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

ヘルスケア装置関連につきましては、遺伝子検査装置、その他医療機器の受託開発やリピート受注に加え、新たな受託開発・試作・量産等の引合いも好調に推移したことから、売上高は4億69百万円（前年同期比141.5%増）となりましたが、量産品の本格生産立上げに伴う一時的な製造原価の増加や生産調整の影響により、3百万円のセグメント利益（前年同期比88.6%減）となりました。

光応用・特殊機器装置関連につきましては、主要顧客からの専用検査装置は引き続き堅調に推移したものの、生産調整による出荷台数の減少や新たな個別案件の引合いの減少により、売上高は4億57百万円（前年同期比40.6%減）、セグメント利益は1億32百万円（前年同期比55.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて2億84百万円増加し、40億80百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6億44百万円、仕掛品が1億68百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が4億80百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて3億71百万円増加し、12億57百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億10百万円、長期借入金が1億32百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて86百万円減少し、28億23百万円となりました。これは主に、利益剰余金が86百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の連結業績予想につきましては、令和2年5月13日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想のとおりであり変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	998,901	1,642,932
受取手形及び売掛金	984,496	503,606
仕掛品	495,412	664,345
原材料及び貯蔵品	144,617	128,967
その他	29,657	39,268
流動資産合計	2,653,085	2,979,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	249,477	250,539
その他(純額)	342,961	311,763
有形固定資産合計	592,439	562,303
無形固定資産	37,472	34,797
投資その他の資産		
投資その他の資産	522,456	509,822
貸倒引当金	△9,900	△5,800
投資その他の資産合計	512,556	504,022
固定資産合計	1,142,469	1,101,122
資産合計	3,795,554	4,080,243
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	194,454	305,279
1年内返済予定の長期借入金	10,320	10,320
未払法人税等	11,724	-
賞与引当金	73,168	11,979
その他	119,913	303,876
流動負債合計	409,580	631,455
固定負債		
長期借入金	45,020	177,280
退職給付に係る負債	430,842	448,496
繰延税金負債	229	-
固定負債合計	476,091	625,776
負債合計	885,672	1,257,231
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	649,757	563,487
自己株式	△165,878	△165,878
株主資本合計	2,905,050	2,818,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,925	7,699
為替換算調整勘定	△1,094	△3,467
その他の包括利益累計額合計	4,831	4,231
純資産合計	2,909,882	2,823,011
負債純資産合計	3,795,554	4,080,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	1,408,263	1,308,411
売上原価	678,117	856,263
売上総利益	730,146	452,147
販売費及び一般管理費	554,235	451,409
営業利益	175,910	738
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,568	2,856
売電収入	9,346	9,526
貸倒引当金戻入額	4,800	4,100
その他	1,702	4,832
営業外収益合計	19,417	21,315
営業外費用		
支払利息	558	579
為替差損	1,223	15,714
売電費用	6,450	5,738
営業外費用合計	8,233	22,032
経常利益	187,095	21
特別利益		
固定資産売却益	799	-
投資有価証券売却益	8,340	-
特別利益合計	9,139	-
特別損失		
固定資産除却損	26	0
特別損失合計	26	0
税金等調整前四半期純利益	196,209	21
法人税等	75,810	11,019
四半期純利益又は四半期純損失(△)	120,398	△10,998
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	120,398	△10,998

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	120,398	△10,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	300	1,773
為替換算調整勘定	△691	△2,373
その他の包括利益合計	△391	△599
四半期包括利益	120,007	△11,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,007	△11,598
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	443,175	194,332	770,755	1,408,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	443,175	194,332	770,755	1,408,263
セグメント利益	96,964	27,352	298,789	423,106

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	423,106
全社費用(注)	△233,402
棚卸資産の調整額	△13,793
四半期連結損益計算書の営業利益	175,910

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	381,135	469,372	457,903	1,308,411
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	381,135	469,372	457,903	1,308,411
セグメント利益	67,981	3,129	132,134	203,245

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	203,245
全社費用(注)	△198,196
棚卸資産の調整額	△4,310
四半期連結損益計算書の営業利益	738

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度までは、電子応用機器・装置事業の単一セグメントでしたが、経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、第1四半期連結会計期間より、「X線残留応力測定装置関連」、「ヘルスケア装置関連」、「光応用・特殊機器装置関連」の3つのセグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

### 3. その他

生産、受注及び販売の状況

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	313,944	46.1
ヘルスケア装置関連	577,480	106.4
光応用・特殊機器装置関連	509,418	43.9
合計	1,400,843	58.8

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	426,909	97.3	139,346	71.7
ヘルスケア装置関連	1,159,304	179.1	1,139,827	137.9
光応用・特殊機器装置関連	432,408	59.5	597,572	86.5
合計	2,018,622	111.4	1,876,746	109.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	381,135	86.0
ヘルスケア装置関連	469,372	241.5
光応用・特殊機器装置関連	457,903	59.4
合計	1,308,411	92.9

(注) 1. 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東洋紡株式会社	—	—	337,892	25.8
株式会社日立ハイテク	151,803	10.8	228,498	17.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。